

キラリ☆かがやく人 interview

久留米でいきいきと自分らしい生き方を
している方をご紹介します。

2020年のオリンピックをめざして!

こばやし ゆうか
小林 優香 さん

1994年生。女子選手による競輪レース「ガールズケイリン」のトップ選手。ホームバンクは久留米競輪場。競輪学校入学当初から頭角を現し、学校での各記録会で、女子としては驚異的な記録を連発。2014年5月のデビューから22連勝を2回記録し、通算成績は100勝を超える。昨年末のガールズグランプリで優勝、自身初の賞金女王となる。2014年・2015年の2年連続で、ガールズ最優秀選手賞を受賞。

●競輪選手をめざしたきっかけは

幼少の頃からバレーボールを始め、中学から親元を離れ、高校、短大と12年間続けてきましたが、バレーボールの選手としては小柄だったため限界を感じて悩んでいました。子どもの頃からオリンピックに出場したいという気持ちが強く、別のスポーツで挑戦できないものかと考えていた時に、たまたまテレビで見たロンドンオリンピックの男子チームスプリントに心が動きました。それまで競輪の存在すら知りませんでした。この競技なら身長にも関係なく、オリンピック出場の夢も実現できるかもしれないと思いました。両親も応援してくれて、短大在学中に競輪学校を受験し合格、競輪選手を目指すことを決意しました。

●競輪学校では何事もポジティブに

競輪学校では、校則も厳しくスケジュールも過密で練習も辛いという多くの声を聞きましたが、私はさほど苦痛には感じませんでした。辛いことばかり考えずに、逆にそこから得られる良い結果を想像して、何事もポジティブに捉えました。オリンピック出場という目標もありましたし、練習すればするほどタイムが上がっていくことが嬉しく、何より時速65キロ以上のスピードを体感できることが楽しかった。これは、バレーボールや水泳で培われた持久力や肺活量が、競輪競技に必要な基礎体力として備わっていたことが幸いしたのだと思います。練習では、男子の後ろについて走ることもあります。やはり筋力に差がある分スピードの違いは明らかで男女の差を感じる瞬間ですが、その速さについていけたら世界に近づけると思うと闘志が湧き、練習に打ち込みました。

●競輪選手になって得たこと、やりがい

競輪は、お客様からお金を賭けていただいていますので、常に全力を尽くす心構えが必要です。それで、練習を重ねることが結果につながり、同世代の女性よりも多く収入を得ることができていると思います。やはり賞金をいただいた時は、とても嬉しいです。また、試合で結果をだすうちにメディアも取り上げてくれるようになり、少しずつお客様の層も若くなってきて、会場では子ども連れの家族も目にするようになりました。自分が優勝することで、努力をすれば報われる姿を見てもらうことにより、子ども達に夢を与えることができると思っています。

●めざすは東京オリンピック

東京オリンピックが決定した時から、メディアにも金メダルを獲ると断言してきました。現在は、4年後のオリンピックに照準を絞った長期計画の下で、専門家の指導を受けながら練習や身体作りを始めています。世界の多くの国で、競輪は国民的スポーツとして親しまれていますが、残念ながら日本ではまだ盛んではありません。賭け事のイメージもありますが、ガールズケイリンは、国際ルールも取り入れ、より競技性を高めたスポーツとなっています。競輪の醍醐味でもあるスピード感をぜひ多くの方に実感してもらい、競技としての面白さを広め、東京オリンピックの会場を日本人のお客様で埋め尽くしたいという思いです。

また、男子競輪並みにもっと女子の競技者も増えて欲しいと思いますし、国民的スポーツとして定着することを願っています。

★男女平等推進センターからのメッセージ

「東京オリンピックで金メダル」という夢に向かって日々練習に打ち込む小林優香さんをみなさんと応援していきましょう!



●編集・発行●
平成28年3月

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037
久留米市諏訪野町1830-6
え〜るピア久留米内
TEL. 0942-30-7800
FAX. 0942-30-7811
URL: http://www.city.kurume.fukuoka.jp
E-mail: danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp

■徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)
■バス/西鉄久留米駅から約5分
JR久留米駅から約20分
「税務署前」下車、徒歩3分
■駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この会報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。

JOURNAL



表紙の写真:キラリ☆かがやく人(8P)で紹介している小林優香さん

ガールズグランプリ2015優勝での表彰式(右上)
1着でゴールした小林選手(中央)

Contents

- 誌上講座レポート…女性のための政策参画講座(地域版・後期)……………2
- 事業紹介…MEN'S LABO(メンズ ラボ)……………3
- 特集…2016年度 男女平等推進センター事業計画……………4・5
- 事業紹介…セーフコミュニティフェスタ、就職支援講座……………6
- 相談室だより…「名前のない性被害」を考える……………7
- 図書情報ステーション…LGBTを知ってください!……………7
- キラリ☆かがやく人 interview……………8

2016
vol.52

女性のための政策参画講座(地域版) あなたのおもいを形に変えれば地域が変わる!

今年度の新規事業として、田主丸町(7月3日・17日)と三潁町(7月7日・21日)を開催場所に、2回連続の講座を行いました。

第1回の講師は中嶋玲子さん。意思決定の場に女性の参画が少なく、女性の能力が十分に活かされていない現状と、女性自身が地域の役職に就くことに消極的であることについての講話がありました。中嶋さんは、女性も役職を頼まれたなら「私でよければ頑張ります」と言って前向きに引き受けようと呼びかけられました。



第1回講師の中嶋玲子さん

第2回講師の倉富史枝さん

第2回の講師は倉富史枝さん。ワークショップ形式で、「地域で女性が自治会長や校区の役員などの役職につくためには何が必要なのか」をテーマに、グループ別に解決策を話し合いました。グループ発表の場では、女性が活躍するためには「女性自身の意識改革」「家族や周囲の協力」「地域での啓発活動」が必要など、たくさんの意見が出されました。

参加者からは、「中嶋さんのユーモアを交えた講話はわかりやすく、心に響いた」「女性も地域社会の構成員として頑張らなければと強く思った」「互いの意見を出すことで、地域の課題を共有できてよかった」「自分自身も変わりながら地域も変えていきたい」「えーるピアまでは距離が遠く、身近な場所で参加できてよかった」などの声が寄せられました。

女性のための政策参画講座(後期) ～意思決定の場への参画をめざして～

第1回

みんなが活躍する社会を実感する

講師：寺崎里水さん
(法政大学キャリアデザイン学科准教授)



講師の寺崎里水さん

みんなが活躍する社会とは何かを考えるために、参加者が身体を動かし、実感するワークを行いました。ワークを行う中で、お互いを尊重し、非難しないで、安心して過ごせる環境をつくるのが大切であること、また人はそれぞれ、できる事とできない事があるのが当たり前であり、負荷を感じながら成功する感覚を理解することが成長や自信になることを学びました。結びに、人口減少していく社会環境の中、「できる人ができない人を引っ張り、できない人は後ろから見ている」という物事のやり方から「できる人が配慮し、できない人も参加できる環境をつくり、男女ともに行う」というやり方に変えることが必要であると話されました。(1月23日)

第2回

私と社会、私とあなたを結ぶ男女共同参画

～一人ひとりの日々の営みからうまれる
“つぶやき”を、社会を変えるちからにしよう!～
講師：高崎恵さん
(男女共同参画政策アドバイザー)



講師の高崎恵さん

日常生活の中で、女だから男だからという固定的な性別役割分担意識からきた自分の経験とその時の気持ち(つぶやき)を書き出し、そのつぶやきに対して、感じたこと、思ったこと、考えたことをグループ内で「私」を主語にして話す! (アイ)メッセージを使って伝える練習をしました。I (アイ)メッセージを使い、自分(私)が何をしたいのか、何を言いたいのかを適確に伝えることが重要です。私たちは意見を出し合い、違いを重ねて、新しい価値観を生む“対話”をしていく必要があります。皆がそれぞれ違う考えを持っているから、アイデアが生まれます。人と違うことを恐れずに、気持ちを言葉にしましょう。気持ちを言葉にして表現するつぶやきこそ、政策提言の種になります。(2月7日)

参加者からは「知識だけにとどまらず、体を動かして、参画しやすい雰囲気を作るコツを体感できました。日常に活かしていきたいです」、「社会の色々な場で、みんなが満足できる環境を作れたらいい」、「対話の大切さや、人との違いこそが宝であることなどを知ることができて良かった」などの声が寄せられました。

相談室だより

「名前のない性被害」を考える

●「名前のない性被害」とは「ポルノ被害」のことを言います。

これは主にアダルトビデオ(以下「AV」と称す。)への出演の中で起きる性被害のことです。通常「ポルノ」とはメディアによる性描写・表現ととらえられていますが、ここで言う「ポルノ被害」は「女性や男性を性的に露骨な形で暴力的、従属的、見世物的に扱う性表現物」を指しています。具体的には、次の4つの場面の被害があり、1つの被害が次々に別の場面の被害につながっていることもあります。

- 「制作被害」・・・暴力や騙し、「違約金」をちらつかせたり、親にばらすと脅迫して無理矢理AVなどに出演させられています。
- 「流通被害」・・・制作したものを売買したりインターネットなどを使って不特定多数に公開されています。
- 「消費被害」・・・ポルノを視聴させられる、ポルノ的な行為を押しつけられる、ポルノに影響された

男性により性暴力を受ける等。加害者は見知らぬ男性とは限らず、父親や夫、恋人や兄弟、職場や学校の関係者という場合もあります。
○「社会的被害」・・・ポルノは、女性を性的な見世物として描き出すことで、女性の従属的で不平等な地位をいっそう強化しています。

●巻き込まれる女性たち

性被害については、被害を受けた側(多くは女性)に非があるかのようにとらえられることに対して、女性たちは、異議申し立てをしてきました。しかし、ポルノ被害については「性被害であり、巻き込まれている」との明確な認識を持ちにくく、女性たちの中でも取り組みが遅れていました。けれども、近年、被害者が声をあげ始めたことから、被害者を巧妙に巻き込んでいく実態が顕在化しつつあります。

インターネットの普及により、被害は深刻化しています。早急に被害者支援の輪を広げていく必要があります。相談室としても、ポルノ被害者への支援スキルを身につけると同時に、多くの方たちと問題を共有していきたいと考えています。

(参考:「ポルノ被害と性暴力を考える会」リーフレット)

図書情報ステーション

LGBTを知ってください!

東京の渋谷区と世田谷区でパートナーシップの証明書や宣誓書受領証の発行が始まりました。また最近、日本企業でも同性パートナーをもつ社員を福利厚生の対象にするなど多様性重視の企業が増えつつあります。同性婚を挙げたカップルの記事や同性のパートナーが死亡保険金を受け取れる生命保険のCMも目にするようになりました。LGBTについてもっと詳しく知りたいあなたへ図書情報ステーションおすすめの本を集めてみました。

L=レズビアン(女性同性愛者)
G=ゲイ(男性同性愛者)
B=バイセクシュアル(両性愛者)
T=トランスジェンダー(心と体の性が一致せず違和感を持つ人)
その他Q=クエスチョニング(自分の性のあり方を探している人)といわれる方もいます。
セクシュアルマイノリティ(性的少数派)を理解し、多様性を認め合い、すべての人が差別されない生きやすい社会をつくりましょう。

LGBTQを知っていますか?

“みんなと違う”は“ヘン”じゃない
日高庸晴監著 星野慎二ほか著
少年写真新聞社 2015年

自分の性について違和感を感じている小学生から大人の方までおすすめの本書です。当事者が直面しやすい問題や、保護者や養護教諭へのアドバイスもあります。



同性パートナーシップ証明、はじまりました。

渋谷区・世田谷区の成立物語と手続きの方法
エスマラダ著 KIRA著
ポット出版 2015年

東京都世田谷区で同性パートナーシップ証明ができるまでのルポ。
著者のエスマラダさんの言葉を借りると「(この制度は)生まれるべくして生まれたのではないかと。読んで納得の一冊です。」



職場のLGBT読本

「ありのままの自分」で働ける環境を目指して
柳沢正和・村本真紀・後藤純一著
実務教育出版 2015年

職場全体にダイバーシティ(多様性)意識が高い職場は勤労意欲が高いとのこと。LGBTの人だけでなく、すべての人がいきいきと働ける職場環境になるためのヒントが満載です。



事業紹介

セーフコミュニティ国際認定都市 久留米市 - みんなで取り組む安全安心のまちづくり -

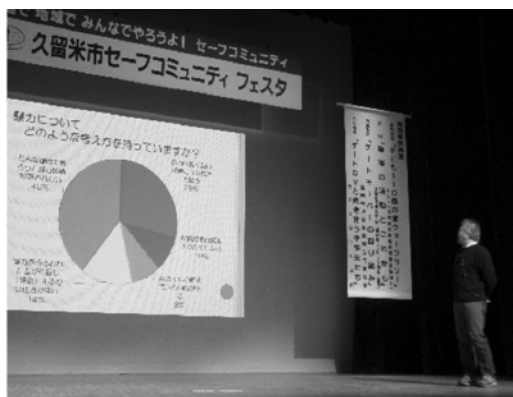
セーフコミュニティフェスタ



市では、市民のみなさんと協働して、安全安心のまちづくりであるセーフコミュニティ活動に取り組んでおり、その推進に向けて、6つの重点取り組み分野である【交通安全】【子どもの安全】【高齢者の安全】【犯罪・暴力の予防】【自殺予防】【防災】ごとに8つの対策委員会を設置し、具体的な対策を行っています。

多くの方にセーフコミュニティの取り組みを知ってもらい、家庭や地域などで実践できる活動を推進するため、1月16日えるピア久留米において『セーフコミュニティフェスタ』を開催し、事例発表や展示、体験イベントなどを行いました。

この中で、DV防止対策委員会からは、DV防止のための展示及び民間団体と市の協働で実施している中学生を対象とした「デートDV防止啓発講座」の実践事例発表を行いましたので、その一部を報告します。



『デートDVと向き合う中学生たち』発表者 NO!SHくるめ
NO!SHくるめと市の協働により、H26年度7つの市立中学校においてデートDV防止啓発講座を実施しました。生徒たちは、デートDVについての講義やスタッフによる寸劇「ユイとリュウヘイ携帯物語」を観た後、男女の気持ちや二人が対等な関係になるためにはどうすればいいかを、グループワーク形式で考え話し合うことにより、デートDVへの理解と認識を深めていきました。

講座実施前のアンケートでは、「デートDV」という言葉を知らない生徒の割合は82%にのぼり、暴力についても半数以上が容認していましたが、実施後は、生徒の97%がデートDVについて「理解できた」と回答しています。

生徒からは「最初は自分には関係ないと思っていたけど、大切なこととわかった」「いくら相手が好きでも、相手の自由を奪うのは違うと思った」等の感想があり、若い世代へ向けたデートDV予防教育の必要性を実感しました。

DV防止のメッセージが入ったしおりに、来場された皆さんからDV防止の願いを込めて、パープルリボンをつけてもらいました。

就職支援講座

～ 就職をめざす女性を対象に「就職準備セミナー」を開催しました ～

- 第1回 平成27年12月3日 魅力が伝わる書類作成術
- 第2回 平成28年2月1日 不安解消!!面接までの準備の進め方



講師 株式会社ACR
就業支援事業部
次長 長田 祐三子さん

働く上で知っておくと役立つ法律や制度（労働条件や解雇）のポイント、またセクハラ・パワハラの被害に遭った場合の対応等について学びました。

採用担当者の目線から、採用したい人物像を考察し、会いたいと思わせる応募書類の書き方や模擬面接の体験を通して社会人としての基本的マナーを学び、これからの就職活動へ向けての大きなはずみとしました。



参加者の声 ・講義も面接練習も、自分の今後に役立つもので、たいへん良かった。
・面接対策は自分を見つめ直す良い機会になった。

～ パソコン技術講習を実施しました ～

- パソコン入門講座：平成27年11月10日より全3回
- パソコン基礎講座：平成27年11月17日より全10回
- 日商PC3級検定対策講座：平成28年1月14日より全10回

就職に有利なパソコン技術を習得してもらい、女性の社会進出を応援します。

意欲に満ちた多くの女性が受講し、就職・再就職のためにスキルアップしました。



男性の生き方支援講座(子育て期)

事業紹介

MEN'S LABO(メンズ ラボ)

～フランス流ライフスタイル・男性の家事 ステップアップ～

子育て中およびこれから子育ての予定がある男性、夫婦、カップルを対象に、子育てや家事について考える講座を実施しました。(2月13日・28日開催)

第1回 フランス流「妻」も「子ども」も「仕事」も大事にする素敵なライフスタイル

講師 アンブ ニコラさん(ニコ道場 代表)

講師 宮地 歌織さん(佐賀大学男女共同参画推進室特任助教) (講師は国際結婚しているご夫婦です)

フランスでは、誰もが、仕事よりも家族と過ごす時間を大事にしたいという思いが強く、男が仕事・女が家庭という意識はなく、育児や家事は夫婦で行います。子どもが産まれても、女性も男性も働き続けることが当たり前であり、ほとんどの男性が育児休暇を取得するこの国では、なによりも家族が大事という社会的な風土がベースにあります。また、出産費用や高校までの学費の無料化や様々な少子化対策制度を充実した結果、出生率が回復したことなど、フランスの子育ての考え方や国の制度についての説明がありました。

お二人の結婚生活や子育ての中で、実践していることが5つあり、それは①パートナーに対して、褒める、感謝する。②家事はできる方がする。③自分の気持ちを言葉にして伝える。④一人の時間も大事にする。⑤将来の夢を持ち続ける、サポートする。ということであると紹介されました。

これまでの生活の中で、ニコラさんのリストラや大病、また、宮地さんの転職等の転機があった時にはサポートし、夢を応援し、ニコラさんの夢であったジム設立の時には、お互いの気持ちを尊重し、信頼する大切さを話されました。参加者からは、「パートナーの夢を応援するというお二人の姿勢が参考になった」などの声が寄せられました。



宮地 歌織さん



アンブ ニコラさん



第2回 専業主夫に聞く家事上達講座

講師 日高 邦博さん(元福岡市・佐賀県男女共同参画審議会委員)

講師は家庭内賃金格差を理由に、専業主夫となって、これまでの経験を通して実践してきた家事等について話されました。

共働き家庭が多くなっている世の中で、男性も家庭責任を担うことが必要で、パートナーに喜んでもらえる最高の領域は、「掃除(片付け)」であり、それは一度にまとめて行うその時限りのものでなく、日常的に行う「プチ掃除」がいいとのこと。

特に、パートナーは高価な宝石でなく、家庭内の「光り物」に弱いので、水周り周辺のシンク、蛇口や鏡・窓・ドアノブを磨けば、パートナーは気づき、微笑んでくれるそうです。また、フローリングには、米ぬかや茶殻で磨くとつやがでることや窓拭きには新聞紙を使う方が洗剤を使うよりピカピカになることも教えられました。ただ、注意しないとイケないことは、「家事しているよ。すごいだろう感をかもし出すのは、百害あって一利なし」と伝えられました。

講師の締め言葉として、「イクメン・カジダンという言葉があるが、流行語やブームでなく、男性が育児や家事をするのが普通であると考えられる社会になって欲しい。男性も「妻」や「子ども」のために、人として、親として、保護者として何をすべきか悩み考え進んでください」と参加者にエールを送られました。参加者からは「日常的に継続した掃除を行おうと思いました」などの声が寄せられました。



日高 邦博さん



2016年度 男女平等推進センター事業計画

久留米市男女平等推進センターでは、男女共同参画社会の実現に向けて、平成28年度もさまざまな講座やイベントを企画し実施していきます。
あなたもセンターの事業に参加して、あらたなる一歩をふみ出してみませんか！

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事予定	・女性の参政権行使日 (4/10)		男女共同参画週間 (6/23~29) 男女雇用機会均等月間	同和問題啓発強調月間	・ピースフルくるめ事業		久留米女性週間 (10/1~7) 仕事と家庭を考える月間	女性に対する暴力をなくす運動(11/12~25) 女性に対する暴力撤廃国際日 (11/25)	女性に対する暴力をなくす運動(11/12~25) 女性に対する暴力撤廃国際日 (11/25)	人権尊重週間 (12/1~10) 世界人権デー (12/10)		女性の健康週間 (3/1~8) 国際女性デー (3/8)
1. 女性・男性学 女性問題・男性問題に気づき、個々の女性・男性が本来持っている力を引き出し、直面するさまざまな問題を解決するための力をつける講座です。		男女共同参画週間記念講演会 子育て中の女性を応援する講座 DV被害者支援地域サポーター養成講座 性暴力防止啓発講座	女性のための政策参画講座(前期) 女性のための政策参画講座(地域版) 性暴力防止啓発講座				男女共同参画セミナー・講演 次世代男女共同参画促進講座		男女共同参画サポーター養成講座	女性のための政策参画講座(後期) 男性の生き方支援講座 女性のための健康づくり講座 性暴力被害者支援講座		
2. 生き方支援 女性の生き方を支援をする相談を行っています。また、寄せられる相談から見えてくる問題を解決していくための講座を企画・実施します。				総合相談(毎日10時~18時...休館日を除く、ただし木曜日17時~20時、日曜日10時~17時) 女性弁護士による法律相談 セクハラ防止講座 女性の生き方を考える講座		法律相談(第2・第4木曜日14時~16時、第3木曜日17時30分~19時30分)					拡大相談員研修会	
3. 就業支援 女性の就業を支援し、経済的・社会的エンパワメントにつながるための講座を実施します。			女性の起業支援セミナー						パソコン技術講習会 就業継続支援講座	入門・基礎・検定対策		
4. 市民活動・交流支援 男女共同参画社会の実現をめざして活動する市民グループをさまざまな形で支援します。							市民グループ公募企画					
5. 女性と情報 ジェンダーの視点でメディアを読み解き、必要な情報を収集・発信する力を養う講座を実施します。			小さなお子さんを預けて図書情報ステーションを利用していただくための企画です。	メディアリテラシー講座		ブックタイム(毎月第2週の金曜日、第3週の火曜日)						
6. 記念・交流事業 市民参画型事業やジェンダーの視点での記念事業などで、市民グループの自主的活動やネットワークづくりを支援します。				「女性と戦争」をテーマとした上映会	「女性と戦争」をテーマとした上映会							女性に対する暴力をなくすキャンペーン 11月12日から11月25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間中に、暴力の撤廃に向けてのさまざまなキャンペーン事業を行います。
												くるめフォーラム2016